



制定日 2018/07/04

改定日 2023/04/25

安全データシート (SDS)

1. 製品および会社情報

製品名 : トラストクリーナーNH
 製品の種類 : 印刷用ゴムロールクリーニング溶剤(印刷インキ洗浄用)
 会社名 : テクノロール株式会社
 所在地 : 〒594-1144 大阪府和泉市テクノステ-ジ3-4-5
 担当部門 : ケミカル技術部
 電話番号 : 0725(53)3933
 FAX 番号 : 0725(53)3922
 E-Mail : info@technoroll.co.jp
 管理No. : No.MD-TC06

2. 危険有害性の要約

<GHS分類>

物理化学的性質 : 引火性液体 : 区分3
 健康有害性 : 眼に対する重篤な損傷眼刺激性 : 区分2A
 生殖毒性 : 区分2

*記載のないものは「区分に該当しない」、又は「分類できない」

<国/地域情報> なし

<GHSラベル要素>

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報



危険
引火性液体及び蒸気 (H226)
強い眼刺激 (H319)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)



<注意書き>

安全対策

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
 容器を密閉しておくこと。(P233)
 容器を接地すること/アースをとること。(P240)
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。(P241)
 火災を発生させない工具を使用すること。(P242)
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)
 取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)

応急措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313)

保管

ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。(P308+P313)
 火災の場合:消火するために粉末消火剤、炭酸ガスを使用すること。(P370+P378)
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)

廃棄

施錠して保管すること。(P405)
 内容物/容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別	:	混合物			
化学名/成分		化学式	CAS No.	官報公示整理番号	含有率(wt%)
グリコールエーテル系溶剤		—	—	—	80~90
アルコール系溶剤		—	—	—	10~20

4. 応急措置

眼に入った場合	:	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。
皮膚に付いた場合	:	皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。
吸入した場合	:	直ちに新鮮な空気の場合に被災者を移して、保温し安静にする。 呼吸が止まっている場合、及び呼吸が弱い場合は衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行い、直ちに医療処置を受ける。
飲み込んだ場合	:	誤って飲み込んだ場合には、無理に吐かせないで医師の手当を受ける。 嘔吐する場合、頭部を横に向ける。 意識喪失の危険がある場合、待機や運搬は安全な側臥位で行う。
急性症状および遅発性症状の最も重要な兆候症状	:	データなし
応急措置をする者の保護	:	データなし
医師に対する特別な注意事項	:	データなし

5. 火災時の措置

消火剤	:	粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	:	棒状注水
特有の危険有害性	:	燃焼ガスには一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	:	消火活動は可能な限り風上から行う。作業者は必要に応じて呼吸保護具を着用する。 火元への燃焼源を断ち、粉末ドライケミカル等を使って初期消火にあたる。 火災が広がった場合は粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水によって消火する。
消火を行う者の保護	:	消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	:	作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する
環境に対する注意事項	:	多量の場合は土砂で囲む等、排水溝等への流出防止措置を講じた後、出来るだけ液の回収に努める。漏出した物が河川、湖沼や地下水に流出して環境汚染を起こさない様注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	:	少量の場合、吸着剤（土・砂・ウエスなど）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱および保管上の注意

取扱い	:	
技術的対策	:	火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する措置を講ずること。 使用前に取扱説明書入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

- 安全取扱い 注意事項 : 蒸気を吸入しないこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
火気厳禁
- 接触回避 : 炎や高温のものから遠ざけること。禁煙。
- 衛生対策 : 取扱い後は手などをよく洗うこと。
- 保管
- 安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。火気厳禁
- 安全な容器包装材料 : データなし

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 : 50 ppm, 150 mg/m³ (tert-ブタノール、日本産衛学会 2015 年度版)
- 設備対策 : 密閉された装置、機器又は局所排気装置を設ける。
取扱場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
- 保護具 : <呼吸保護具> 必要により有機ガス用防毒マスク、自給式空気呼吸器
<保護眼鏡> 側板付き安全眼鏡
<保護手袋> 耐溶剤性のゴム手袋(不浸透性)
<保護衣> 耐溶剤性の保護衣、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 無色、液体
- 臭い : エーテル臭
- 沸点、初留点および沸騰範囲 : 96.0 ~ 224.0°C
- 蒸気圧 : データなし
- 比重 : 0.92 ~ 0.93 g/cm³
- 溶解性(水) : 水に完溶 (20°C) (水溶性)
- 引火点 : 53.0°C (タグ密閉式)
- 燃焼範囲 : データなし
- 発火点 : 150°C以上
- 可燃性 : あり
- 自然発火温度 : 223°C

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
- 危険有害反応可能性 : 78°C以上では、蒸気、空気の爆発性混合気体を生じることがある。
強力な酸化剤と反応する。
- 避けるべき条件 : 裸火
- 混触危険物質 : 強力な酸化剤
- 危険有害な分解生成物 : 爆発性過酸化物

11. 有害性情報

- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2の成分合計が100%であり、≥10%の為、区分2Aに該当。
- 生殖毒性・授乳影響 : 区分2の成分合計が5%であり、≥3%の為、区分2に該当。

12. 環境影響情報

製品としての有害情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
- 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1.4. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送	:	IMO、IMDGの規定に従う。
航空輸送	:	ICAO/IATAの規定に従う。
国連番号(UN No.)	:	1993
国連品名	:	その他の引火性液体 (他の危険性を有しないもの) (FLAMMABLE LIQUID, N.O.S.)
国連分類	:	引火性液体類
クラス	:	3
容器等級	:	III

国内規制

陸上輸送	:	消防法、労働安全衛生法及び道路運送車両法に定められている運搬方法に従う。
海上輸送	:	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
特別の安全対策	:	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏洩のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはいけない。重量物を上積みしない。

1.5. 適用法令

労働安全衛生法令

危険物	:	施行令別表第1第4号「危険物・引火性のもの」 混合物
通知対象物質	:	名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) ジェチレングリコールモノブチルエーテル、tert-ブタノール
表示対象物質	:	名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) ジェチレングリコールモノブチルエーテル、tert-ブタノール
有機溶剤中毒予防規則	:	非該当
消防法	:	危険物第4類第二石油類(水溶性液体) 危険等級III(2000L)
毒物及び劇物取締法	:	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 制度)	:	第一種 ジェチレングリコールモノブチルエーテル (政令番号 : 1-170)
船舶安全法	:	引火性液体類
航空法	:	引火性液体
海洋汚染防止法	:	ジェチレングリコールモノブチルエーテル (Z 類物質)

1.6. その他の情報

荷姿	:	18L 金属缶入り
注釈	:	この製品データは一般的な情報および経験に基づき得られたものですが、本製品のもつ特性に関する品質保証を意味するものではありません。危険、有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。また、記載事項は当製品についての通常取扱いを対象としたものであり、それ以外についてはご使用者の責任において安全対策を実施の上、お取り扱い願います。 本 SDS は JIS Z7252/7253:2019 に準拠して作成しています。